

馬術・全日本ジュニア総合

坂田・ギャレストロ号準優勝

東京都大会・障害130で優勝



▲ 2大会で活躍した坂田 (撮影=植木)

全日本ジュニア総合馬術大会が5月22日から24日まで、JRA馬事公苑で行われた。調教審査、耐久審査、余力審査を同じ人馬で行う総合力が問われる大会で、坂田篤司(経済1・クラーク記念国)が4位となった。各大会の主入賞者は次の通り。

◇全日本ジュニア総合馬術大会▽菅谷泰一(経済2・浦和東高)・エンドペロー号▽5位▽鶴林・ゴールドスター号▽7位▽小田原頌(経営4・麻布大付野辺高)・エイムライト号▽8位

◇東京都馬術大会(東京)▽菅谷泰一(経済2・浦和東高)・エンドペロー号▽5位▽鶴林・ゴールドスター号▽7位▽小田原頌(経営4・麻布大付野辺高)・エイムライト号▽8位

部活 拜見

ボクシング部



▲ 2部復帰に向け、練習にも熱が入る

北京五輪ライトウエルター級日本代表の川内将嗣(平20商)を輩出したことで知られるボクシング部。「練習量は多く、部員の中には高い技術を持っている者もいる。でも、1人が強くて周りが強くなかったら団体戦では上になれない。ボクシングは個人戦なので、部全体のレベルを上げていくのは難しい」と淡路一級(1級)のトーナメント戦で、信吾主将(商4・王寺工)が、昨年度は部員が4人しかおらず、団体戦では思うような成績を残すことができなかった。しかし、1年次生が6人入部し、部員が10人となった今、関東大学リーグ戦で、現在の3部から2部復帰を目指し、練習に励んでいる。

部のレベル向上へ 真剣、かつ楽しく

練習は月曜から土曜まで、18時から第一体育館ボクシング場で行われてきた。(菅原 亜美・文2)

「練習は月曜から土曜まで、18時から第一体育館ボクシング場で行われてきた。(菅原 亜美・文2)」

阪野がベスト16



フェンシングの韓国国際大会が5月18、19日、韓国・ソウル市で行われ、阪野弘和主将(経済4・武生商高)がフルレの日本代表として出場し、ベスト16入りを果たした。1回戦を15-3で勝利したが、2回戦は韓国代表に敗れた。(森住 綾・文2)

東都大学準硬式野球春季リーグ戦

6勝5敗で3位に

後半好調 大学選手権へ手応え

東都大学準硬式野球春季リーグ戦が5月30日に閉幕し、専大は6勝5敗の勝ち点3で3位に終わった。

久保田真史主将(商4・太田市立商高)は「全日本大学に向け、改めて気合を入れなおし、先輩



▲ クリーンアップの一角を担う杉浦。全日本での活躍が期待される

バレーボール・春季関東大学リーグ

入替戦に敗れて 1部復帰ならず

春季関東大学バレーボールリーグの1、2部入替戦が5月24日、駒沢体育館で行われた。初日は中大に敗れたものの青学大、東農大を下し2勝1敗。2日目以降は明大に勝利するも3校に連敗を喫した。昨年は2位で、更なる躍進が期待されたが、3勝4敗の5位で全日程を終えた。(大津 智世・経営2)



▲ スパイクを打つ栗山



▲ 勝利を喜ぶ重藤(右)と難波

テニス・関東学生トーナメントダブルス

重藤・難波組ベスト8

ノーシードから大健闘

関東学生テニストーナメント大会が5月11日から18日まで、東京都の有明テニスの森で行われ、女子ダブルスで重藤と難波組がベスト8入りした。女子ダブルスで重藤と難波組がベスト8入りした。

4人出場 星が7位

アーチエリー・全日本学生東日本選手権

全日本学生アーチエリー大会が5月30日、北海道江別市野幌運動公園で行われた。今大会は東日本各地区の春季リーグ戦で高い個人成績を残した選手に出場権が与えられ、専大からは4人が出場。試合は風や雨の影響を受ける悪いコンディションの中で行われ、星達也(経営2・馬場)が7位入賞を果たした。(高田)

学芸大を破り7位

高橋が「ベスト8賞」

関東大学女子バスケットボール選手権が5月9日から31日まで、代々木第二体育館ほかで行われた。初戦は東洋大に100-59で快勝したが、白鷲大に64-70で敗れ、ベスト16で大会を終えた。森達也主将(経済4・日大山形高)は「白鷲大戦は、東洋大戦での反省を生かしたが、勝負どころで力が発揮しきれなかった。秋のリーグ戦に向けて立て直します」と語った。(大津)

佐賀商高)のサーブなどで6点を連取すると、そのまま流れに乗る。スパイクが決まるごとにその勢いは増し、25-17で先取した。しかし第2セット中盤からは一転、筑波大に主導権を握られ、レシーブの乱れから攻撃に

つなげられず、結局最終まで反撃の糸口をつかめなかった。

吉岡達仁監督は「1、2年次生主体なので良い経験になった。秋季リーグに向けて一から鍛え直したい」と語った。(吉野瞳・文2)写真も)

つなげられず、結局最終まで反撃の糸口をつかめなかった。

吉岡達仁監督は「1、2年次生主体なので良い経験になった。秋季リーグに向けて一から鍛え直したい」と語った。(吉野瞳・文2)写真も)

東京都カヌースプリント

K - 2・500m 1、2位独占

K - 4・500m も優勝

東京都カヌースプリントが5月30日、神奈川県宮ヶ瀬湖で行われ、K-2・500mで黒坂将哉(法3・谷地高)・和田恭平(商3・二本松工高)組が優勝、土屋陽経(営2・東郷高)・菊地純一(商2・安達高)組が準優勝を果たした。また、K-4・500mでは、黒坂・和田・土屋・菊地組が慶応大を下し、優勝した。

和田は「この大会のために初めて組んだメンバーで、練習もあまりできなかった。その中で結果が残せてよかった」と話した。(森住)